

Jプログラム課題研究

日中女子大学生の結婚観及びキャリア志向に関する調査研究

—日本群馬大学女子大学生と中国海南大学女子大学生に実施したアンケート調査より—

社会情報学部・特別聴講学生 劉欣宇（中国海南大学）

名前：劉欣宇
学生番号：15684005
学部：社会情報学部
大学：中国海南大学
指導教員：高山利弘
園田智子

目次

序章

- 第一節 はじめに
- 第二節 先行研究

第一章 アンケート調査について

- 第一節 調査の目的
- 第二節 アンケート調査の手続きと仕組み
- 第三節 分析方法

第二章 アンケート調査の実施

- 第一節 アンケート調査の結果
- 第二節 アンケート調査の分析と考察
- 第三節 本研究の限界

まとめ

おわりに

日中女子大学生の結婚観及びキャリア志向に関する調査研究

—日本群馬大学女子大学生と中国海南大学女子大学生に実施したアンケート調査より—
劉欣宇

序章

1. はじめに

少子化は 1990 年から日本社会における一つの社会問題としてなっている。2014 年に合計特殊出生率が対前年比で 0.01 低下し、1.42 となったが（厚生労働省 2014）、少子化の問題は依然として深刻である。中国でも、2014 年中国の出生率が対前年比で 0.43% 上昇し 12.37% となったが（中国国家统计局 2014）、少子化もしだいに深刻的社会問題になっている。

また、日本と中国の結婚率も低下傾向になっている。2015 年に日本の結婚率は 5.1% であり（厚生労働省 2015）、2015 年中国の結婚率は 9.0% だが（中国民政部 2015）、離婚率は 2013 年から上昇している（中国民政部 2013・2014・2015）。そして、2015 年中国女性の平均初婚年齢は 26 歳であるが（中国婦女連合会 2015）、日本女性の平均初婚年齢 2011 年は 29 歳である（厚生労働省 2011）。それぞれのデータから、日中女性が晩婚化の傾向があるということが明らかになる。少子化に対し、晩婚化はその一つの原因として、研究すべきものではなかろうかと考えている。

2. 先行研究

城島・白河ほか(2011)「女子大学生の結婚観と職業観の調査」には、東京の中堅女子大の女子大学生を調査対象として、女性の結婚観や職業観にズレが生じているかを調査することを目的として、結婚観やジェンダー観、職業観に関してアンケート調査を行った。その結果では、調査対象となった 28% の女子大学生が「男は仕事、女は家庭中心」という男女役割分業の結婚観には反対しつつも、一家の家計の担い手は夫であるという、ジェンダー観と結婚観にズレが生じている。結婚観と職業観には、女子大学生たちは出産したら就労し続けたいという意欲が高いといえる。そして、その大学の女子大学生たちの望むライフコースはゆるく働き続けつつ、早期に結婚し、出産するという、もしくは子育て期間中は一時的に課程に入り、子育て後にパートなどで復帰するということが明らかになった。

宋・綱島ほか(2010)の「日本と中国の女子大学生の意識に関する研究-主に結婚観、職業観、性役割観について-」には、日本人と中国人の女子大学生と、日本に留学している中国人を対象として、アンケート調査を行い、それぞれに特有の価値観が見出された。日本人は結婚に対して「精神的な安らぎ」「子育ての生きがい」を求めて一方で、結婚による「家事育児負担」に不利を感じていた。中国人は結婚に「高めあう仲間を得る」ことを期待し、女性は結婚と職業を両立することを望んでいた。留学生は、結婚に対して「精神的な安らぎ」を求める傍ら、結婚後働くことは「自分の能力の発揮」とであると捉えていた。

西川(2012)の「経済社会変動と女子大学生の結婚観・キャリア意識に関する日韓比較研究-日本女子大学と梨花女子大学の比較通して-」には、日韓両国の女子学生の結婚観・キャリア意識を比較することを目的として、日本の女子大学生と韓国の女子大学生を

対象に、結婚観、就職継続意識、性別役割分業観などについて質問紙による予備調査（2011年11月～12月）を行い、その結果から、女子学生のキャリア意識には、経済社会や法制度、女性の雇用の現状などの外的環境要因と、儒教思想や良妻賢母イデオロギーなどの内的・主体的要因が影響すると考えた。そして、「韓国の経済社会の変動は日本よりも速く、社会変動の速さが女子学生のキャリア意識に大きく影響を与えているのではないか」という仮説を立て、2012年5月～7月に両大学の学生を対象に、就業、結婚、性別役割分業観、グローバル化社会の受容性などについて質問紙による調査を行った。その調査から、女子学生の結婚観・キャリア意識には就職継続意識という外的要因と、性別役割分業観という内的・主体的要因が影響するとみられる。前の予備調査の結果を関連つけて、その仮説を検証した。

以上並べ立てられる研究では、日本女子学生の結婚観と職業観についてのことも、日中女子大学生の結婚観や職業観についての意識も、日韓女子大学生の結婚観とキャリア意識についての研究方法も、参考的なものになった。

それぞれの先行研究では、女子大学生のキャリア志向と結婚観についての考え方が明らかになった。しかし、四、五年前に研究した結果は今の女子大学生には変わっているのではなかろうかと思っていて、今の女子大学生の意識について研究したいと考えている。

第一章 アンケート調査について

第一節 アンケート調査の目的

本稿では、同じアジア文化的背景を持つ日本と中国の女子大学生を対象として、アンケート調査を行い、今の日中女性のキャリア志向および結婚観を考察することを目的としている。まず第一に、日中女子大学生の結婚観に関する意識を調査する。第二に、日中女子大学生のキャリアと結婚に関する意識を調査する。そして最後にその違いにより、日中女性のキャリア志向および結婚観を考察する。

第二節 アンケート調査の手続きと調査の枠組み

2-1. 手続き

2016年7月6日から7月16日までの期間に、無記名の方式で日本群馬大学50名の女子大学生と中国海南大学50名の女子大学生にアンケート用紙を配布した。日本の女子大学生には直接配布回収したが、中国の女子大学生には「<http://www.sojump.com/jq/9035501.aspx>」というサイトを利用しオンラインアンケートを実施した。アンケートを受けた日中女子大学生の平均年齢は20.75歳である。

2-2. 調査の枠組み

アンケートには20の設問があり、単一選択、複数選択、自由記述、順位法などの回答形式を用いた。

設問は2項目に分けられた。一つは結婚に対する考え方についての項目であり、もう一つは女性の生き方に対する考え方についての項目である。

第三節 分析の方法

アンケート質問紙を回収しオンラインアンケートのデータを整理し、エクセルを用いて項目ごとに回答を単純に集計し、日中のデータを比較し考察した。

第二章 アンケート調査の実施

第一節 アンケート調査の結果

今回のアンケート調査は、2016年7月に日本群馬大学女子大学生と中国海南大学女子大学生の各50名を調査対象として行われた調査である。その女子大学生の中で、平均年齢は20.75歳である。

ここで、アンケート調査の結果を分析していきたい。

1. 結婚に対する考え方

1) 結婚相手の条件

結婚相手の条件について尋ねたところ、表1のような順位が得られた。一位では、中国の女子大学生(44%)は「価値観が近い」ということだが、日本の女子大学生(42%)は「自分と家族のことを大切にすること」である。次いで二位で、中国の女子大学生は「性格がいい」を選び、日本の女子大学生は「価値観が近い」を選んだ。三位で、中国の女子大学生は「自分と家族のことを大切にすること」であるが、日本の女子大学生は「性格がいい」ということである。四位と五位では、中国も日本も同じで、「経済力がある」と「外見やスタイルがいい」である。

このデータにより、中国の女子大学生は、結婚相手は価値観を同じくするパートナーとして見ていますが、日本の女子大学生は、結婚相手は自分や家族を守る存在として見ています。

中国の女子大学生と日本の女子大学生にとって結婚相手の経済力、外見やスタイルなどのことはそのように大切ではない。

順位	中国	日本
1	価値観が近い(44%)	自分と家族のことを大切にすること(42%)
2	性格がいい	価値観が近い
3	自分と家族のことを大切にすること	性格がいい
4	経済力がある	経済力がある
5	外見やスタイルがいい	外見やスタイルがいい
6	その他	その他

表1 結婚相手の条件

2) 中国で結婚に関する一般的な世論について

中国では、結婚に関する一般的な世論が二つある。一つは、女性が30歳未婚の場合、きわめて世間体が気になると言われている。もう一つは、結婚する前に、男性が住宅や自家用車を持っているということは重要だと思われる。

だが、図1のデータを見ると、70%の中国の女子大学生は世間体が気にならないと答えるが、「結婚の前に男性が住宅や自家用車を持っているということは重要だと思いますか」

について、中国の女子大学生は重要だと思っている人は50%で、重要ではないと思っている人は52%であり、だいたい同じ程度である。その二つの世論に対して、中国の女子大学生は30歳に未婚しても世間体が気にならなく、また、一般的な世論より、結婚する前に男性が住宅や自家用車を持つのはそのように重要だと思っていない。すなわち、その二つの世論は本研究にとる結果とは全く逆な結果になった。そして、世間体が「やや気になる」を選んだ人の中で、日本人の女子大学生の方が多くて、それは想像以外な結果である。

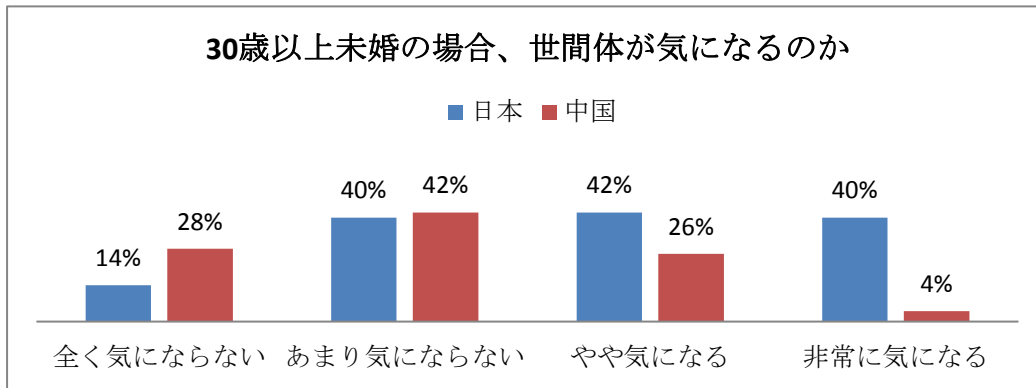


図1 「30歳未婚の場合、世間体が気になるのか」

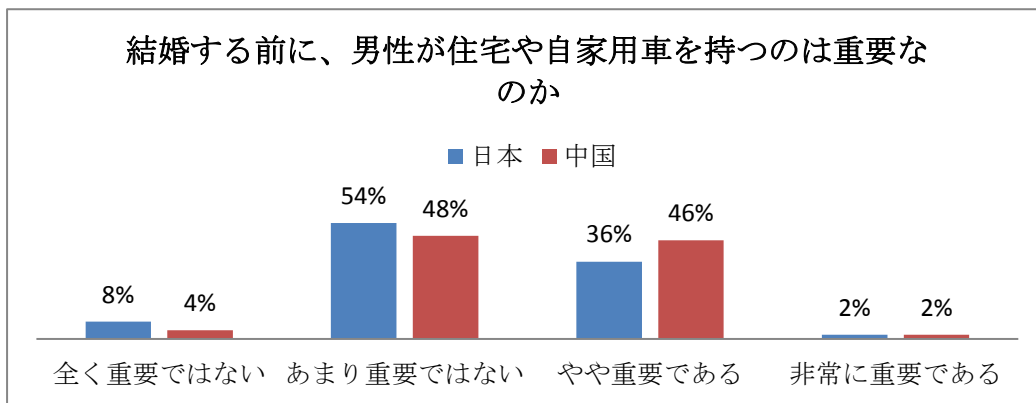


図2 「結婚する前に、男性が住宅や自家用車を持つのは重要なのか」

2. 女性の生き方に対する考え方

1) 専業主婦に対する考え方

「専業主婦になりたいと思っているのか」に対し、ほとんどの女子大学生は「全くなりたくない」を選び、「全くなりたくない」を選んだ人の中で中国の女子大学生のほうが多い。この選択肢を選んだ理由が自由記述により得られる。日中女子大学生の共通の理由が4つある。まずは社会に出て働きたい、働くのは生きがいになるということであり、次いで仕事を通して自分の夢を叶えたいということである。また、「家事が嫌い」「専業主婦の生活はつまらなそう」などの理由もある。そして、「可能ならばなりたい」と思っている人では日本の女子大学生の方が多い。その選択肢を選んだ理由は、家族と子供と一緒にいたら幸せを感じられるということである。

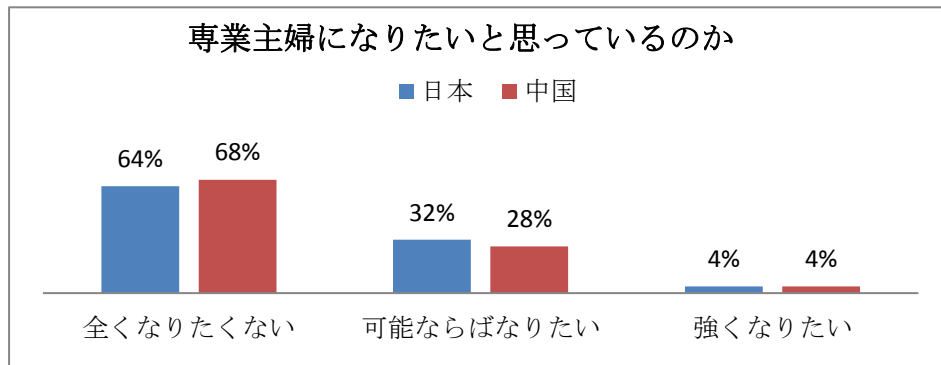


図3 「専業主婦になりたいと思っているのか」

2) 結婚しても仕事を続けるかについて

図4と図5を見ると、日本の女子大学生(84%)と中国の女子大学生(90%)は、「仕事を続ける」を選び、日中女子大学生はほとんど結婚しても仕事を続けたいと思っている。中国の女子大学生より、「仕事を辞めるがパートなどをする」と思っている日本の女子大学生のほうが多い。すなわち、ほとんどの日本の女子大学生も中国の女子大学生もキャリア意識が強い。

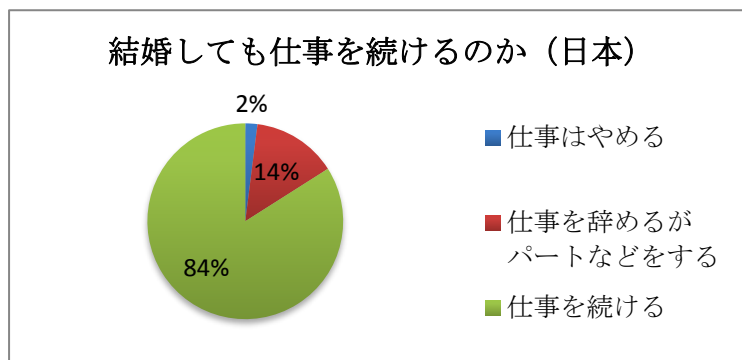


図4 「結婚しても仕事を続けるのか (日本)」

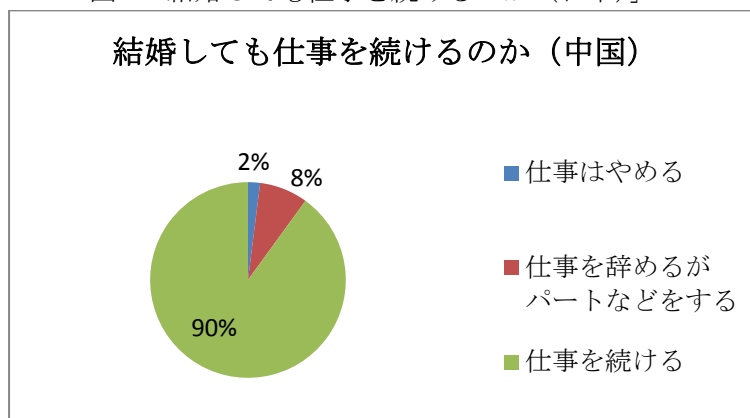


図5 「結婚しても仕事を続けるのか (中国)」

3) 結婚しても女性が経済的に独立すべきかについて

「結婚しても女性が経済的に独立すべきか」について、「全くそう思わない」を選んだ中国の女子大学生は2%であるが、18%の日本の女子大学生は「そう思わない」と答えた。

「非常にそう思う」を選んだ人では、中国の女子大学生は72%であるが、日本の女子大学生はわずか12%である。

すなわち、そのデータによって、中国の女子大学生は結婚しても女性が経済的に独立すべきだと思っているが、日本の女子大学生は独立すべきだとあまり思っていない。

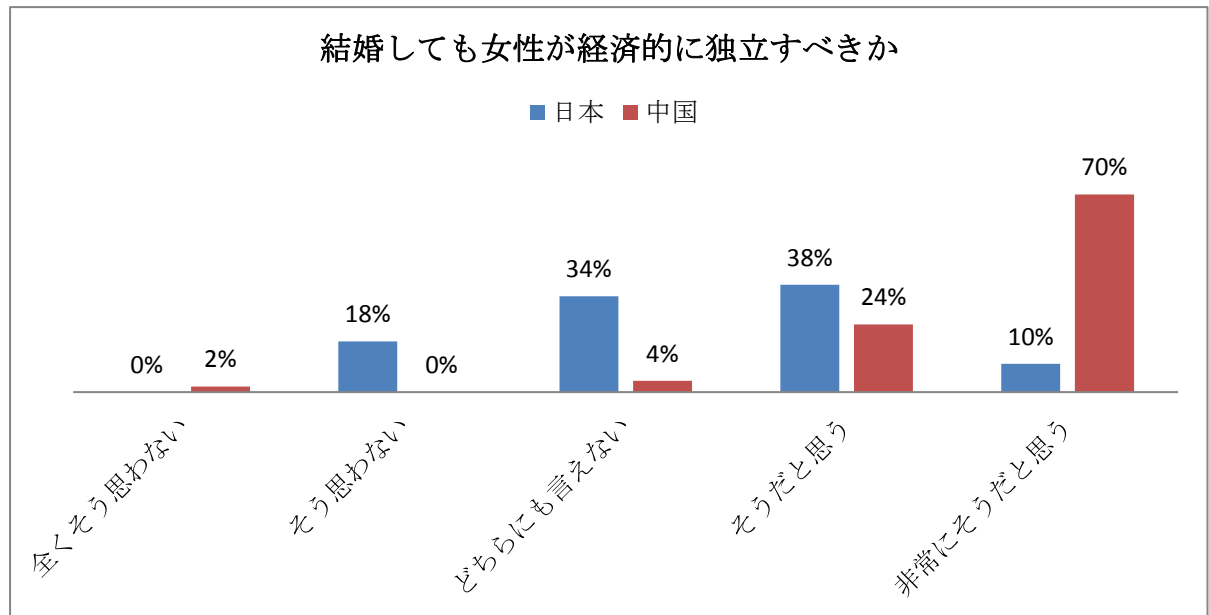


図6 「結婚しても女性が経済的に独立すべきか」

4) 自分が予測する30歳のキャリア段階

「30歳自分のキャリア段階の予測」について、中国の女子大学生ではもっとも多くの人（46%）は自分が30歳の時管理職の会社員として働いていると予測したが、日本の女子大学生ではもっとも多くの人（20%）は自分が30歳の時主婦・子育てなどとして働いていると予測した。

すなわち、ほとんどの中国の女子大学生は自分が30歳の時にまだ働いているということ予測したが、多くの日本女子大学生は30歳に無就業という段階を予測しました。

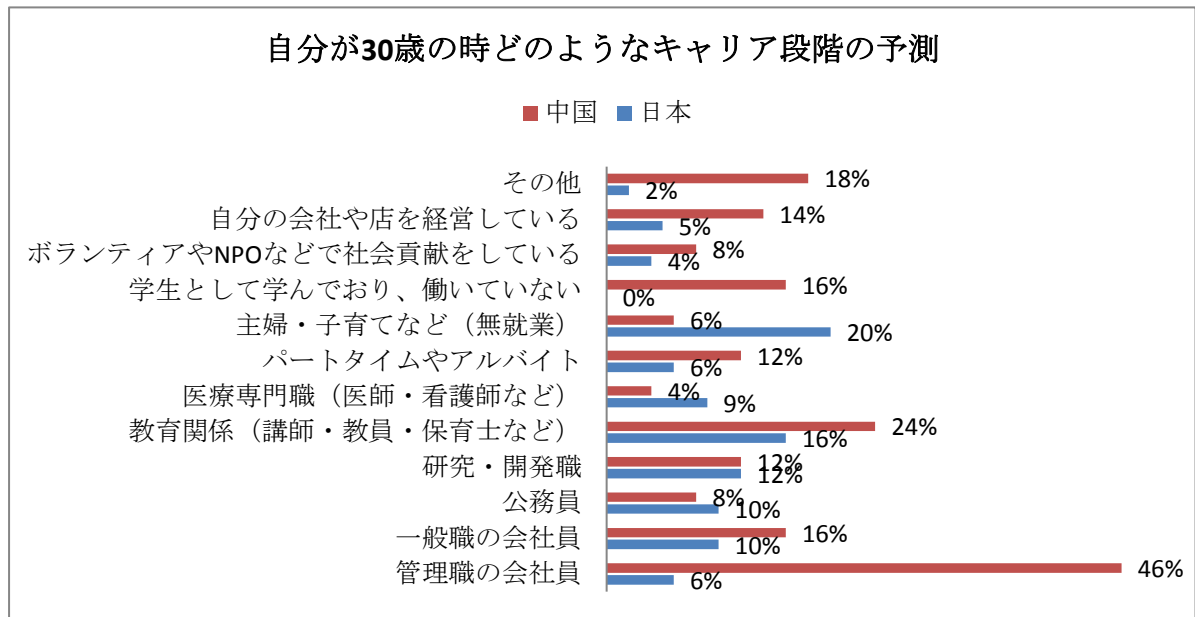


図7 「自分が30歳の時どのようなキャリア段階の予測」

5) 性別役割に関する考え方

「男は仕事、女は家庭」という考え方に対してどう思いますかについて、「どちらとも言えない」を選んだ人の中で日本の女子大学生の方が多いが、「同意する」人では中国の女子大学生の方が多い。

同意できない人では日本の女子大学生のほうが多くて、同意する人では中国の女子大学生のほうが多い。

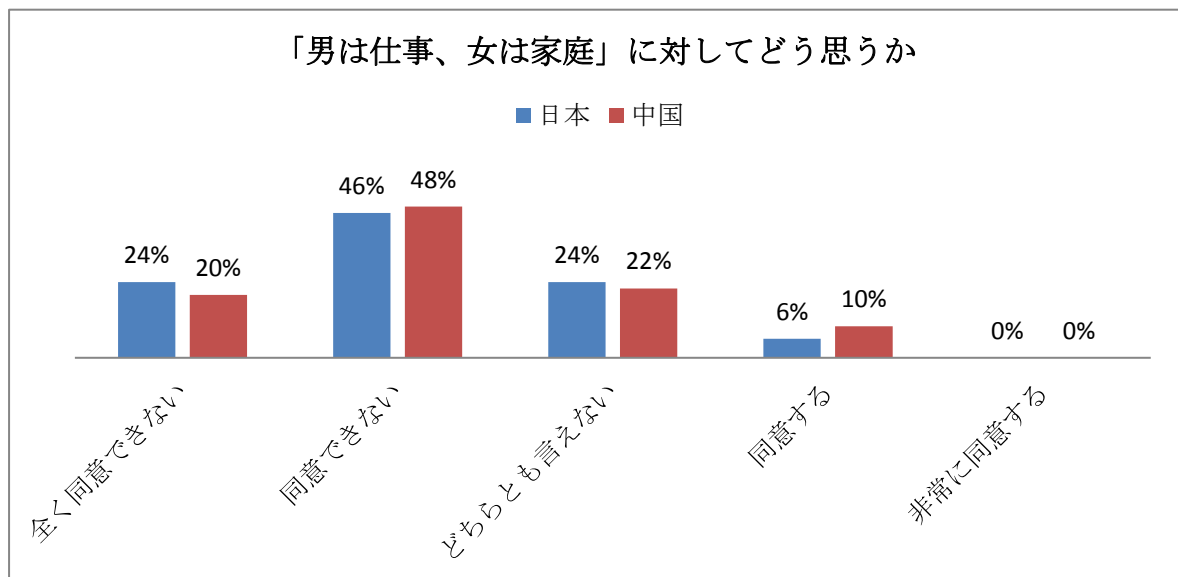


図8 「男は仕事、女は家庭」に対してどう思うか

第二節 アンケート調査の分析と考察

アンケート調査によって、研究の結果を考察していきたい。

理想的結婚相手について、中国の女子大学生は価値観が近い相手を求めているが、日本の女子大学生は自分と、家族のことを守れる相手を求めている。日中女子大学生はほとんど専業主婦になりたいと思っていないが、可能ならばなりたい日本の女子大学生もいる。結婚してから日中女子大学生は仕事を続けると考えているが、仕事を辞めるがパートなどをしている日本の女子大学生もいる。中国の女子大学生は結婚しても経済的に独立すべきだと思っているが、日本の女子大学生は独立すべきだとは思っていない。中国の女子大学生は30歳になって会社員としてまだ働いていると予測したが、日本の女子大学生は主婦・子育てなど無就業の段階を予測した。最後に、日中女子大学生は「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して同意できないが、中国の女子大学生の中で同意する人もいる。そして、中国の一般的な世論と逆な結果が二つある。一つは、30歳で未婚の場合、中国の女子大学生は世間体が気にならないということである。もう一つは、結婚する前に男性が住宅や自家用車を持っているということに対して、中国の女子大学生はそのように重要ではないと思っている。

第三節 本研究の限界

本研究ではまだ限界があると考えている。

まずは代表性である。アンケート調査の対象は各国50名ずつ100人のみであり、また、それぞれひとつの大学のみで実施したので、今回の結果を過度に一般化することはできない。

もう一つは経年調査の必要性である。アンケート調査の結果は平成28年7月に日中女子大学生の考え方のみで、社会情勢により結果は大きく変化することが考えられるため継続調査を行ったほうが説得的である。

したがって、今度の研究を行う場合、アンケート調査対象の数が多くしたいと思っている。そして、深い研究を達成するため、経年調査を行い、社会情勢が変化することも考え、もっと説得的な結果になるように努力する。

まとめ

上記日中女子大学生の結婚観及びキャリア志向に関する調査研究アンケート調査の結果により、様々な違いが得られた。それによって、日中若い女性のキャリア志向及び結婚観を考察することができるようになった。

中国の若い女性は価値観が近い相手を求め、30歳で未婚になっても世間体は気にならないだろうと言える。結婚しても経済的独立性を持ち、キャリア志向は高い。日本の若い女性は自分と家族のことを守れる相手を求め、結婚後女性が経済的な独立性を持たなくてもいいと考えている一方、結婚後仕事は続け、また、「男は仕事、女は家庭」という性別役割観に反対している。

考察の中に、「中国の女性は価値観が近い相手を求める」「日本の女性は自分と家族のことを守れる相手を求める」ということは、宋・綱島の研究で述べられた「中国人は高めあう仲間を得ることを期待する」「日本人は精神的安らぎを求める」ということと一致した。そして、本研究による日本の女性のジェンダー観と結婚観はずれが生じていることも城島・白河の研究の結果を検証した。

おわりに

最後に、アンケート調査にご協力していただいた日本群馬大学女子大学生と中国海南大学女子大学生の皆様に心より感謝しお礼申し上げます。

【参考文献】

城島博宣・白河桃子ほか（2011）「女子大学生の結婚観と職業観の調査」『文教大学人間科学研究ノート』149-158

宋曉威・綱島誠ほか（2010）「日本と中国の女子大学生の意識に関する研究」『茨城大学教育実践研究』29、201-211

西川裕子（2013）「経済社会の変動と女子大学生の結婚観・キャリア意識に関する日韓比較研究—日本女子大学と梨花女子大学の比較を通して—」『現代女性とキャリア』5、73-83

山田昌弘（1996）『結婚の社会学：未婚化・晩婚化はつづくのか』東京丸善

山田昌弘（2014）『「家族」難民：生涯未婚率 25%社会の衝撃』東京朝日新聞出版

【参考サイト】

厚生労働省（2014）「平成 26 年（2014）人口動態統計（確定数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei14/>

厚生労働省（2011）「平成 23 年人口動態統計月報年計（概数）」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai11/>

厚生労働省（2015）「厚生労働省平成 27 年人口動態統計月報年計（概数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai15/dl/gaikyou27.pdf#search='%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81%E5%B9%B3%E6%88%9027%E5%B9%B4%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E5%8B%95%E6%85%8B%E7%B5%B1%E8%A8%88%E6%9C%88%E5%A0%B1%E5%B9%B4%E8%A8%88'>

中国国家统计局（2014）「第六回国勢調査」
<http://data.stats.gov.cn/easyquery.htm?cn=C01&zb=A0302&sj=2014>

中国民政部（2016）「2015 社会服务发展统计公报」
<http://www.mca.gov.cn/article/sj/tjgb/201607/20160700001136.shtml>

中国民政部（2015）「2014 社会服务发展统计公报」
<http://www.mca.gov.cn/article/sj/tjgb/201506/201506008324399.shtml>

中国民政部（2014）「2013 社会服务发展统计公报」
<http://www.mca.gov.cn/article/zwgk/mzyw/201406/20140600654488.shtml>

中国妇女联合会（2015）「2015 中国婚姻幸福家庭调查报告」
<http://old.women.org.cn/>